

## 特集：「連」メール版 視覚障がいにも配慮した取り組み

— ユニバーサルデザインのほんの一端ですが —

### ◆できるだけ多くの人に情報を届けたい

シムネット発行の市民活動情報紙「連」は、毎月900部/8頁を発行しています。公民館・地域センターなどの公共施設で配布するほか、会員への郵送や手配りが主。市内の大学への手配りもしています。

投稿してくださる団体の原稿をもとに、イベント情報や、その時々タイムリーな市民活動関連の情報を「特集」として掲載しています。

この間、できるだけ多くの方に、読みやすく情報を届けたいという気持ちの一つとして視覚障がいの方々向けにちょっとした工夫をしてきました。

### ◆工夫を始めたきっかけは…

シムネット(NPO法人小平市民活動ネットワーク)が小平市内外の市民活動情報紙「連」を発行して22年。視覚障がい者の方々には会員を中心として、メールで「連」をお送りしています。

筆者自身は、これ以前から、他の団体(小平図書館友の会)の会員交流紙を編集してきました。

ふとしたことから“小平障害者団体連絡会視力部会”の方々を知り合い、そのうちの数人の方が図書館友の会に入会。会員向けの交流紙を、さてどうやって送ったものかと考えたのがきっかけです。今から30年ほど前のこと。

当時は朗読や点訳ボランティアの団体にテープや点字で送っていました。その後パソコンが普及し、数人の視覚障がいのある方にはメールで送るようになりました。

### ◆シムネットの「連」では…

現在、「連」では、いったん「紙印刷用」に作ったものを、視覚障がい者向けに「翻訳・加工」しています。担当2名が、交代で読みやすく調整しお送りしているのです。メールで受け取った方は、これを音声に変えて聞く(読む)というスタイルです。

### ◆たとえば…ちょっとした工夫(翻訳)

市や公共施設のホームページ上での表現は参考になります。

晴眼者(目が見える方)むけには、記号はとても役に立ちますが見えない場合は、あるとかえって煩わしい。図や写真も同様です。そこでこんな工夫をしています。

たとえば…

- ◆ 記号はできるだけ避ける。たとえば、項目だのための○や◆等々。
- ◆ ☒ のマークを、電話 と変換する。
- ◆ 3月1日(日)は、3月1日曜日などとする。
- ◆ 図や写真、表は、場合によっては削除し、「こんな写真が載っていますなど」説明文を掲載。
- ◆ 基本はテキストスタイルで送る。
- ◆ 文字のフォント(サイズ・形)を読みやすいものということで「UD(ユニバーサルデザインフォント)」を使う。「連」の本文部分はUDデジタル教科書体NK-Rです。

だれでも、知りたいときに十分な情報を手に入れることができるのは、とても大切なこと。「連」の工夫は、そのほんの一端です。

まだまだいろいろな工夫が必要なのだと思います。今後とも、できるところで工夫を続けていきたいと考えています。

◆メールで「連」を送っているみなさんにご意見を伺いました。(視覚障害者PC教室の皆さんの声)

- ◆ 会の代表からいつも情報を送ってもらってとても助かっています。
- ◆ 他市に住んでいるのですが、小平の例を自分の市の人達に伝えて参考にしてもらっています。
- ◆ 時々読んでいます。役に立ちます。

※ 視覚障害者パソコン教室については小平市民活動支援センター「こだいら市民活動ナビ」に載っています。(文責:伊藤)

<https://kodaira-navi.net/act.cgi>

